

事業番号	8	事業名	独立行政法人理化学研究所（S Pring -8 の運營業務）
------	---	-----	--------------------------------

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

（事業についての見直しの余地）

【契約名】大型放射光施設（S Pring-8）及び関連施設運營業務に関わる契約

- JASRIとの一体運用でなくては、S Pring-8が機能しないことを考えれば、基本的にこのままやっていくべきである。もちろん、その中での内部合理化の努力は不可欠である。内部に業務改善委員会のようなものを立ち上げ、本受け、孫受けの組織の役員の数の縮小なども含め検討していく必要があるのではないか。
- 現実的には一般競争入札によって他者が入札してくるとは考えられない。形式的な一般競争入札に向かう努力よりも、検収方法の改善等によってコスト削減に努力すべきだろう。
- JASRIとスプリングエイトサービス等株式会社との契約において、競争性を高める努力が必要。そうした努力を通じて理研からJASRIへの委託費の適正化が可能。
- 理化学研究所は研究機関であり、全国的な共用施設であるS Pring-8のユーザー利用に対するサービスを行うことと大きく異なる文化基盤を持っている。そのため、JASRIが専らS Pring-8の運用を実施するという体制は妥当である。しかし、JASRIが財団法人という形であることについては検討の余地がある。
- 契約関係が複雑すぎ無駄な経費が必要となっているのではないか。
- 過去の経緯もあるが、この際、S Pring-8の運営に関する制度を根本から見直すべきであろう。
- S Pring-8と不可分の業務は理研において行う。ただし、不可分でないものは、競争条件が整うよう制度設計を改めるべきである。
- スプリングエイトサービスに発注したほうが人件費コスト削減できるというが、JASRI自身でできないと最初から考えることがおかしい。財団法人として公明正大に運営される組織で一体で行うべきである。

【契約名】大型放射光施設（S Pring-8）及び関連施設建屋設備等の日常点検業務

- JASRIとの一体運用でなくては、S Pring-8が機能しないことを考えれば、基本的にこのままやっていくべきである。もちろん、その中での内部合理化の努力は不可欠である。内部に業務改善委員会のようなものを立ち上げ、本受け、孫受けの組織の役員の数の縮小なども含め検討していく必要があるのではないか。
- JASRIを経由しないで業務委託ができるなら、一者応札にならないよう競争性を高める努力が必要。契約の公正性を立証する努力が必要。
- JASRIからスプリングエイトサービスに対して独占的にアウトソーシングしたのは、かつて妥当性があったと思われる。しかし、日本社会として放射光に対する認識は大きく変化しており、応札条件を整備されることで競争的な状況を作り出すことが可能だと思われる。
- 委託業務の内容から見てさらに競争性を高めることができる。

- SPring-8と不可分の業務は理研において行う。ただし、不可分でないものは、競争条件が整うよう制度設計を改めるべきである。
- スプリングエイトサービスに発注したほうが人件費コスト削減できるというが、JASRI自身でできないと最初から考えることがおかしい。財団法人として公明正大に運営される組織で一体で行うべきである。

【契約名】労働者派遣契約

- 事務補助と技術支援で派遣契約を分けるべきである。事務補助は多数者が応募できるはず。技術支援は複数年契約で安定した形で専門家確保に努めるべきである。
- 複数年契約制を採用する等に改めて、一般競争入札参加者は増やす努力をされたい。
- 他2契約に比べて、より一般的な労働者派遣であるから、応札業者を増やす努力を行う。契約の公正性を立証する努力が必要。
- スプリングエイトサービスに比較しても、専門性に対する要求は低く、より競争的な状況を作り出すことが可能である。
- 今予定している今後の改善方針を実施して欲しい。
- 競争入札が健全に行われるよう体制を整備する。特に国、理研等との人的つながりを断つ。
- スプリングエイトサービスに発注したほうが人件費コスト削減できるというが、JASRI自身でできないと最初から考えることがおかしい。財団法人として公明正大に運営される組織で一体で行うべきである。

評価結果

(事業についての見直しの余地)

【契約名】大型放射光施設（SPring-8）及び関連施設運営業務に関わる契約

要改善（運営体制の在り方の検討を含め改善）

見直しの余地なし	2名
要改善	6名

【契約名】大型放射光施設（SPring-8）及び関連施設建屋設備等の日常点検業務

要改善（運営体制の在り方の検討を含め改善）

見直しの余地なし	1名
要改善	7名

【契約名】労働者派遣契約

要改善（競争性をより高めるよう改善）

見直しの余地なし	0名
要改善	8名

(注) 要改善の () 書きは改善内容を示し、複数選択を可能としている。

とりまとめコメント

検討の対象となった3つの契約については、全て「要改善」との意見を多く頂いており、3つの契約全て「要改善」との結論とする。

評価者からは、特に、

○SPring-8の運営について

過去の経緯はあるにしても、現段階において、理研、JASRI、スプリングエイトサービスの3社体制で運用しているのは複雑であり、また、OBの在籍、間接経費のコストが無駄ではないかといった問題もある。業務内容、役割分担の在り方を分析し、外部委託の妥当性も含めて業務実施体制を大幅に見直すべきではないか、

○契約のあり方について

SPring-8と不可分でない業務については、競争条件が整うよう制度設計を改め、応札業者を増やす努力が必要ではないか、

などのご指摘をいただいた。

今後、これらの指摘を十分踏まえ、運営体制の在り方についても検討をし、改善を図るというまとめにしたい。